

発達障害作業療法学実習Ⅱで遊びの分析に取り組みました（2024.10）

2024年10月16日

その子らしくいきいきと - 発達を支える作業療法士 - 日本作業療法士協会

作業療法士は、脳性麻痺や発達障害などの診断を受けた子供たちを支援します。その際、子供たちが楽しんで取り組めるよう“遊び”を活用したプログラムを実施します。2人一組で選んだ遊びを体験し、その特徴分析や治療への活用方法について考えて発表しました。遊びには運動能力を高めること、興味や好奇心を高めて知的な発達を促進すること、仲間との社会性を学ぶことなど、大切な役割がたくさん含まれます。支援に遊びをどう活かすかがとても大切になります。

